

Quality is more than a word

ESPEC



AIRCRAFT-RELATED EQUIPMENT

航空機関連機器のための
環境試験・受託試験



Webでご紹介

エスペックの環境創造技術で 航空機産業に確かな安心と安全を

私たちエスペックは、これまでに培った環境創造技術によりあらゆる地球環境の再現を可能とします。この技術によって、空での衝撃、振動、熱など様々な環境での信頼性・安全性試験を実現。航空機が安全に空を飛び、人々の生活を豊かにするために。それを支える機器や部品が、機能を十分に活かすためにもエスペックにぜひご相談ください。

30年におよぶ環境試験における
受託試験の実績と豊富な経験で、
ご要望に合わせたサービスを提案しています。

ISO/IEC 17025に基づいた認定試験所

宇都宮 Utsunomiya
宇都宮市清原工業団地 23-1

豊田 Toyota
豊田市聖心町 3-44-1

神戸 Kobe
神戸市北区鹿の子台南町 5-2-5



豊田試験所内

航空機関連に必要な特殊な試験槽や大型槽を完備して、各種安全性試験やMIL規格試験、故障分析などトータルにサポートします。

MIL-STD-810 試験項目一覧表

METHOD No.	試験名称		受託試験 対応装置例			
			試験設備型式	槽内寸法 [mm]		
				W	H	D
500.6	低 圧 (高度)	手順I - 保管/航空輸送	MZH	1500	1500	1500
		手順II - 操作/空輸				
		手順III - 急速減圧	温度槽+自作装置	300	300	300
501.6	高 温	手順I - 保管	TCC-150	800	500	400
		手順II - 操作	SMS-2	1200	1000	1500
			FDS-04500	2000	1500	1500
		手順III - 戦術 - スタンバイから運用	ARS-1100	1000	1000	1000
502.6	低 温	手順I - 保管	PL-4J	1000	1000	800
			SMS-2	1200	1000	1500
		手順II - 操作	FDS-04500	2000	1500	1500
			ARS-1100	1000	1000	1000
503.6	温度衝撃	手順III - 操作	ARSF-800	1000	1000	800
		手順I - A - 一定の極限温度からの一方向の衝撃	TSD-101	710	345	410
		手順I - B - 一定の極端な温度からの単一サイクルの衝撃				
		手順I - C - 一定の極端な温度からのマルチサイクル衝撃	TSE-11	320	148	230
504.2	液体の 内容物による 汚染	手順I				
		手順II				
507.6	湿 度		PL-4J	1000	1000	800
			SMS-2	1200	1000	1500
			ARS-1100	1000	1000	1000
			ARSF-800	1000	1000	800
509.6	塩水噴霧		複合塩水噴霧試験機	300	580	400
510.6	砂 塵	手順I 吹き付ける塵	粉塵試験機	600	600	600
512.6	浸 漬	手順I - 浸漬				
		手順II - 塗付				
514.7	振 動	手順I - 一般振動				
516.8	衝 撃	手順I - 機能的衝撃	振動・衝撃 試験機	600	600	600
		手順II - 梱包機材		800	800	800
521.4	着氷性/ 凍結性降雨	手順I - 雨水	TBE-6	3950	2400	2900

試験サービス紹介

エスペックは、MIL-STD-810、
RTCA/DO-160G規格に合致した試験を
行うことができる装置を
各種取り揃えております。

※製品写真はイメージです。



Laboratory Testing Services

大型高度 (減圧・低温) 試験



航空機が飛行する高度の減圧・低温環境を再現した試験を実施できます。

高 度 …… ~100,000フィート
気 圧 範 囲 …… (大気圧) ~0.1kPa
温 度 範 囲 …… -70℃ ~ +180℃ (上記温度範囲は >11.6kPa時)
内 法 寸 法 …… W1.5m × H1.5m × D1.5m

加圧試験



機器(供試品)が通常の航空機の与圧システムによって生じるキャビンの加圧に耐えられるかどうかを判定する試験が行えます。

圧 力 範 囲 …… (大気圧) ~200kPa※
※最大: +100kPaG (エアークンプレッサーによる空気加圧)
内 法 寸 法 …… φ840mm × L1500mm

高速温度変化試験



最大18℃/minのリニアな温度変化試験が可能です。
供試品温度での制御も可能です。

高 度 …… -70℃ ~ +180℃
温度変化率 …… 18℃/min (+155℃ → -45℃)
内 法 寸 法 …… W0.8m × H0.5m × D0.4m

中型温度変化試験



大容量1500Lで5℃/分の試験が可能です。
湿度の制御も可能です。

温 度 範 囲 …… -70℃ ~ +180℃
温度変化率 …… 5℃/min (+155℃ → -45℃)
内 法 寸 法 …… W1.2m × H1.0m × D1.5m

砂塵(塵埃)試験



乾燥砂塵(塵埃)伴った雰囲気の試験が可能です。日本で唯一、MIL規格の砂塵(塵埃)試験ができる受託試験設備です。

温 度 範 囲 …… +20℃ ~ +80℃
砂 塵 濃 度 …… 3.5g/m³ ~ 17.7g/m³
風 速 …… 0.5m/s ~ 15.2m/s
内 法 寸 法 …… W0.6m × H0.6m × D0.6m

ハイレート振動試験



最大加振力45kNの振動に加え
最大5℃/minの温度変化ストレスを加える事ができます。

温 度 範 囲 …… -70℃ ~ +180℃
内 法 寸 法 …… W1.0m × H1.0m × D1.0m
最大加振力 …… 45kN
振動数範囲 …… 5Hz ~ 2000Hz
最大変位 …… 76.2mm (p-p)

HALT/HASS試験



製品仕様を超える「強いストレス」(急速温度変化や6自由度ランダム振動)を製品に与え、製品の限界(弱点)を早期に見つけます。

振動加速度 …… 5Grms ~ 75Grms
温 度 範 囲 …… -100℃ ~ +250℃
温度変化率 …… W1.2m × H1.0m × D1.5m
テーブル寸法 …… W0.76m × D0.76m

RTCA/DO-160G 試験項目一覧表



Webでご紹介

※供試体サイズや付帯条件によって実施可否が変動する可能性があります。

Section No.	Section 名称	Sub. Sec	試験名称	受託試験 対応装置例				
				試験設備型式	槽内寸法 [mm]			
					W	H	D	
section 4	温度試験	4.5.1	地上残存低温試験及び 短時間動作低温試験					
		4.5.2	低温作動試験	TCC-150	800	500	400	
		4.5.3	地上残存高温試験及び 短時間動作高温試験	SMS-2	1200	1000	1500	
				FDS-04500	2000	1500	1500	
		4.5.4	高温作動試験	ARS-1100	1000	1000	1000	
				ARSF-800	1000	1000	800	
		4.5.5	飛行中の冷却損失試験					
		4.6.1	温度圧力試験	MZH-32H	1500	1500	1500	
		4.6.2	減圧試験	減圧試験装置	300	300	300	
4.6.3	加圧試験	加圧試験装置	φ840		1500			
section 5	温度変化 試験	5.3.1	試験が複合試験である場合	TCC-150	800	500	400	
				SMS-2	1200	1000	1500	
				FDS-04500	2000	1500	1500	
				ARS-1100	1000	1000	1000	
		5.3.2	試験が複合試験でない場合	ARSF-800	1000	1000	800	
				カテゴリー-S1	TSD-101	710	345	410
5.3.3	カテゴリー-S2	TSE-11	320	148	230			
section 6	温湿度 試験	6.3.1	標準湿度環境	カテゴリー-A	PL-4J	1000	1000	800
					SMS-2	1200	1000	1500
		6.3.2	厳しい湿度環境	カテゴリー-B	FDS-04500	2000	1500	1500
					ARS-1100	1000	1000	1000
6.3.3	外部湿度環境	カテゴリー-C	ARSF-800	1000	1000	800		
section 7	運航時 衝突・ 破壊時の 安全性試験	7.2.1	上下方向の 衝撃を加える事のできる 装置の場合	カテゴリー-A	振動・衝撃 試験機	600	600	600
						800	800	800
				カテゴリー-D				

Section No.	Section 名称	Sub. Sec	試験名称		受託試験 対応装置例			
					試験設備型式	槽内寸法 [mm]		
						W	H	D
section 8	振動試験	8.5.1	標準正弦波振動試験	S	振動・衝撃試験機	600 800	600 800	600 800
		8.5.2	標準ランダム振動試験	S				
		8.6	高レベル短時間試験	H,Z				
		8.7.1	堅牢正弦波試験	R,U,U2				
		8.7.2	堅牢ランダム試験	R,U,U2				
		8.8.1	既知のヘリコプターのサインオンランダム試験	R,U,U2				
		8.8.2	未知のヘリコプターのサインオンランダム試験	U				
		8.8.3	既知のヘリコプターのサインオンランダム試験	U2				
section 10	防水性試験	10.3.1	凝縮水テスト (Condensing Water Proof Test)		湿度付き冷熱試験器(改良)	650	460	370
		10.3.3	スプレープルーフテスト (Spray Proof Test)		防水性試験装置			
		10.3.4	連続ストリームプルーフテスト (Continuous Stream Proof Test)		防水性試験装置			
section 11	流体感受性	11.4.1	スプレーテスト (Spray Test)	F				
		11.4.2	浸漬試験 (Immersion Test)					
section 12	防塵試験	12.4	ダスト試験	D	粉塵試験機	600	600	600
		12.5	サンド試験	高風速	S			
				低風速				
section 14	塩水噴霧試験	14.3.6.6	塩水噴霧	S	複合塩水噴霧試験機	300	580	400
		14.3.6.7	重塩水噴霧	T				
section 24	着氷試験	24.4.1	蓄積 アイシング	A				
			フライト アイシング	B	MZH-32H	1500	1500	1500
			グラウンド アイシング	C	TBE-6	3950	2400	2900

エスペックはJCSSの登録事業者として、温度計・湿度計を校正しています。
 温度・湿度の校正技術の確かさ、管理レベルの確実さなどが
 認められた校正機関として、お客さまの温度計・湿度計に対して
 国家計量標準へのトレースの確立をお手伝いします。



- 計量法校正事業者登録制度(JCSS)の登録事業者のうち、国際MRAに対応した認定を受けている事業者を示す認定シンボルです。
- 「0101」はエスペックの登録番号です。

JCSS標章付き 校正証明書を発行

JCSS標章(ロゴマーク)付き校正証明書は、そのマークによって日本の国家計量標準へのトレーサビリティが確保されていることを証明しています。品質規格の要求する「国家標準につながるトレーサビリティ体制」を構築することが可能となります。

ILAC-MRA付証明書

JCSSの国際相互承認プログラム(MRA)は国外でも証明書が有効となり、海外との取引を円滑にすすめることが可能となりました。さらに、国家計量標準にトレーサブルであることを証明するにとどまらず、お客様の技術能力や品質システムの信頼性をも保証できると考えられます。

対象品目と校正範囲【JCSS校正】

① 温度校正

対象製品：指示付き温度計(白金抵抗体・サーミスタ及びK)・熱電対
 JCSS認定を受けた温度校正範囲：-80℃以上 300℃以下
 分類：接触式温度計

種類	校正範囲	
指示計器付温度計	白金抵抗温度計 サーミスタ測温体	-80℃ ~ 300℃
	熱電対 【T型及びK型】	-80℃ ~ 300℃
	熱電対(T型)	-80℃ ~ 250℃
	熱電対(K型)	-80℃ ~ 300℃

② 湿度校正

対象品目：露点計・通風乾湿度計・電子式湿度計(湿度センサー)等
 (詳細は認定証による)

種類	校正範囲
露点計	露点 -30℃以上50℃以下
電子式湿度計	校正温度：5℃以上60℃未満 相対湿度：5%以上95%以下 ただし露点温度50℃以下相当の相対湿度

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

本社 530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

受託試験に関するお問い合わせは

宇都宮 Tel:028-667-8735 Fax:028-667-8733
 神奈川 Tel:044-740-8456 Fax:044-797-0073
 常滑 Tel:0569-77-7181 Fax:0569-77-7182
 豊田 Tel:0565-25-3364 Fax:0565-25-3365
 刈谷 Tel:0566-62-8380 Fax:0566-62-8385
 神戸 Tel:078-951-0961 Fax:078-951-0964